

エコララコートの特徴 1

～従来光触媒と何が違うのか？～

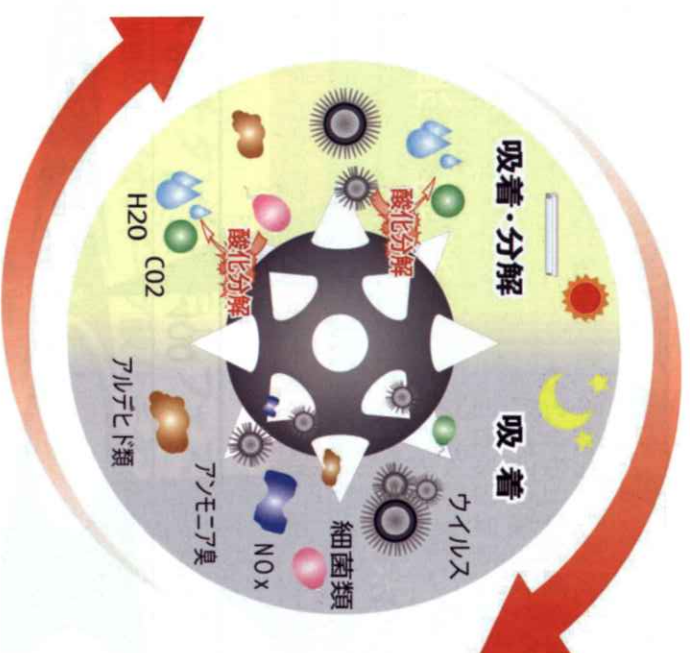
●光の波長分布と灯触媒の応答域



エコララコートの特徴 2



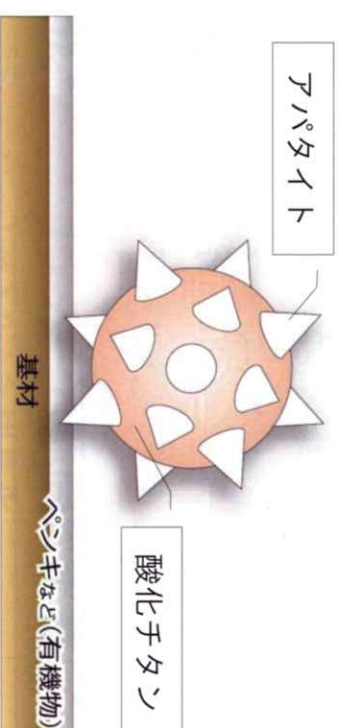
24時間働き続けます



光が当たらない状態では、アパタイトが有機物質を吸着し、光が当たるとそれらを酸化チタンが分解するといったロータリー反応が生じます。余分なランニングコストをかけることなく、24時間働き続けます。

基材を保護します

基材が有機物でもアパタイトが緩衝材となり、酸化チタンの分解能力から基材を保護します。



紙・プラスチック・繊維などにも施工が可能。

カーボンアークランテ照射による促進劣化試験(樹脂)



- ◆ 室内30年・屋外10年に相当
- ◆ 80時間後の重量減少率5%で基材を痛めていない

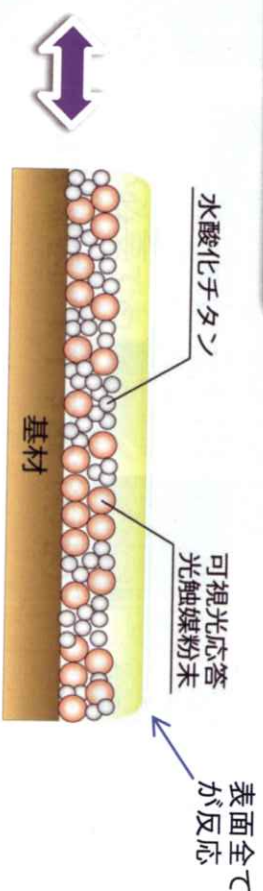
エコラコー特の特徴 3



従来光触媒

熟練技術不要
施工費安価

エコラコート



バインダー必要

通常は光触媒粉末を塗料に混ぜて施工する塗料工であり、基材に施工するためには下、中、上塗と3〜6工程が必要です。

バインダー不要

酸化チタン粒子の隙間にアモルファス状の水酸化チタンが入り込み、酸化チタン粒子同士の結合や、基材との密着性良好。

低効率

光があたる酸化チタンは少なく、多くはバインダーの中に埋もれているため、反応効率が低い。

高効率

基材の表面全てを覆うように酸化チタン皮膜が形成されるため、全面に光があたり、非常に高い光触媒効果があります。

効果持続性が低い

有機バインダーの場合、触媒反応によりバインダーが破壊され、光触媒粉末が剥がれ落ちてしまうため、光触媒効果が長続きしない。

超うす膜

バインダー不要・特許施工方法により、超うす膜・均一にコーティングが可能です。そのため基材の質感や風合いを損ないません。

エコラコートは世界各国の病院で採用されています。

☆トルコ共和国 国立・アカデミー・大学病院多数施工 ※トルコ商品名 EASY COAT



GulhaneMilitaryMedicineAcademy



国立Zeynepkamil医院

トルコ共和国では、ほとんどの病院
鉄道関係、首相官邸などで採用
世界で初めて病院内の消毒方法として
厚生省の認可が下りる見込み



☆台湾 国軍左榮總醫院 (高尾)



内政部北區老人之家 (台北)

